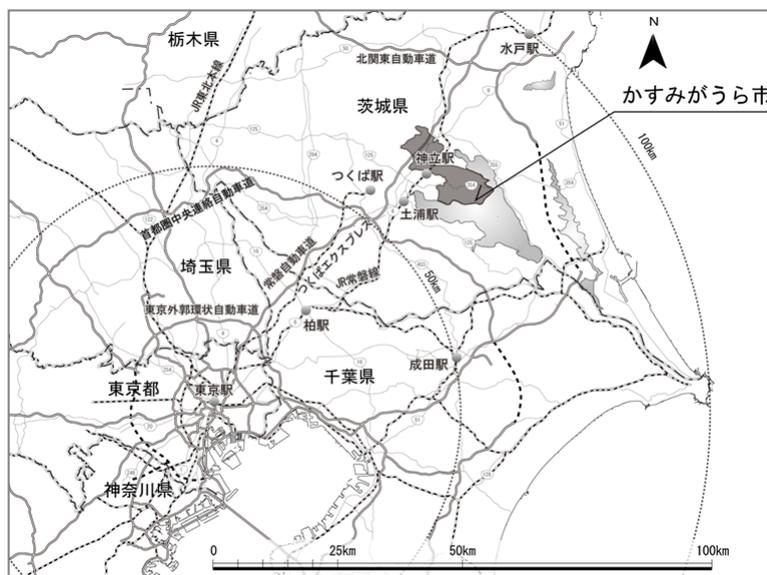


# 概 況

## 【位置】

かすみがうら市は、茨城県南部のほぼ中央に位置し、我が国第2位の面積を誇る「霞ヶ浦」と筑波山系の南麓にはさまれ、その一部は水郷筑波国立公園に指定されるなど、優れた自然景観と都市景観が調和した田園都市です。

西側は土浦市、北側は石岡市に隣接し、首都東京へ約70km、県都水戸市へ約30km、筑波研究学園都市へ約10kmの距離にあり、JR常磐線、千代田石岡インターチェンジを市内に有する常磐自動車道、国道6号、国道354号などの幹線交通網が各都市を結び、立地条件にも恵まれた都市です。



(位置図:「市都市計画マスタープラン」より)

## 【地勢・気候】

かすみがうら市の総面積は、156.60平方 km(うち霞ヶ浦水面の面積は37.87平方 km)で、南北に約16km、東西に約19.5kmとなっており、中央部がくびれた形状をしています。

その大部分は、標高25m 前後の常陸台地で西端の標高約380m の山々から霞ヶ浦湖岸の低地へとつづくなだらかな地形を有しています。北部には恋瀬川と天の川が流れ、南部には菱木川と一ノ瀬川が流れており、南東部で霞ヶ浦に接しています。そして、台地部には畑や平地林が、霞ヶ浦沿岸の低地部一帯には水稻やレンコンなどの水田が広がっています。

また、気候は、霞ヶ浦や筑波山系の山々の影響を受けて、冬期は比較的暖かく夏期は比較的涼しく、台風や霜、雪などの被害も比較的少ない地域で、温暖な気候に恵まれています。

## かすみがうら市の歩み

年	月	主なできごと	
平成17年	3月	霞ヶ浦町と千代田町が合併「かすみがうら市」誕生	
	5月	市長選挙が行われ、初代市長に鈴木三男氏が当選（無投票）	
	7月	かすみがうら市誕生記念式典開催	
		かすみがうら市文化協会設立	
	8月	第1回かすみがうら市少年のつばさ（オーストラリア）	
	10月	第1回かすみがうら市生涯学習フェスティバル開催	
		千代田庁舎に証明書発行自動交付機設置	
	11月	霞ヶ浦大橋有料道路無料開放	
		第1回かすみがうら祭開催	
	12月	県知事から霞ヶ浦地区の梨が銘柄産地指定認定を受ける	
平成18年	2月	第1回市民マラソン大会開催	
		農業委員会委員選挙	
	3月	第1回かすみがうらふれあいフェア開催	
		本市が物語の中心舞台として描かれた映画「恋するトマト」が完成	
		かすみがうら市区長会設立	
	4月	新治児童館開館	
	7月	市長選挙が行われ、第2代市長に坪井透氏が当選（無投票）	
	10月	市内コミュニティバス運行開始	
	平成19年	1月	市議会議員選挙
		3月	オフトーク通信廃止
県知事から霞ヶ浦地区のレンコンが、銘柄産地の再指定を受ける			
4月		「かすみがうら市総合計画」策定	
10月	圓城寺和則氏が副市長に就任		
	かすみがうら市総合型地域スポーツクラブが設立、同時に「KSCなかよしスポーツクラブ」及び「KSCエンジョイスポーツクラブ」発足		
	かすみがうら市市民憲章制定		
12月	かすみがうら市花・木・鳥制定		

年	月	主なできごと	
平成20年	1月	「かすみがうら食発見コンテスト」開催	
	4月	地域福祉センター「やまゆり館」開館 長寿（後期高齢者）医療制度開始 市施設への指定管理者制度導入開始 かすみがうら市焼酎づくり推進協議会設立	
	6月	第1回かすみがうら市ブランド化推進会議開催	
	9月	かすみがうら市総合防災訓練実施	
	11月	やきいも焼酎「湖山」発売 第23回国民文化祭市主催事業「帆引き船フェスタ」で、 皇太子殿下があじさい館にご来館し、帆引き船模型作りを ご視察される	
	12月	「かすみがうらのスイーツ・おやつコンテスト」開催	
	平成21年	3月	市道㊦2644号線（深谷大和田バイパス）開通 霞ヶ浦新庁舎建設工事着工 霞ヶ浦の境界が決定 「かすみがうら市地域計画マスタープラン」策定
		4月	霞ヶ浦地区でデマンド型乗合タクシーの運行開始 コイ養殖が6年ぶりに再開 霞ヶ浦地区の保育所を3か所に統合
		7月	「湖山の宝」プレミアム商品券発売
		8月	「霞ヶ浦帆引き船模型」が茨城県郷土工芸品に認定
12月		志筑小学校移転整備工事着工 ブルーベリーリキュール「霞恋」発売	
平成22年		1月	千代田庁舎にパスポート窓口開設
	2月	利根コカ・コーラボトリング株式会社と防災協定締結	
	3月	宍倉出張所、多目的会館、美並地区公民館閉館	
	4月	歩崎公園にビジターセンター開館 千代田庁舎市民部で窓口延長業務開始 ふるさと市民制度開始	
	5月	霞ヶ浦新庁舎での業務開始 郷土資料館入場者70万人突破	

年 月	主なできごと
平成22年 7月	「2010ブルーベリーin茨城」開催 市長選挙が行われ、第3代市長に宮嶋光昭氏が当選 石岡つくば線バイパス開通
8月	かすみがうら市インターネット公売開始
10月	市内交通システム再編 市内コミュニティバスを廃止し、土浦駅シャトルバスと 市内観光シャトルバス運行開始 千代田地区でのデマンド型乗合タクシー運行開始
平成23年 1月	市議会議員選挙 土浦かすみがうら土地区画整理一部事務組合設立 霞ヶ浦公民館事務所をあじさい館へ移転
2月	市民懇談会開催
3月	東日本大震災発生 市内で震度6弱を観測、住家1,191棟が損壊 千代田庁舎2階・3階が損壊し立ち入り禁止
4月	市税・保険料のコンビニ納付開始 原発事故に伴う風評被害対策会議開催
5月	市農業再生協議会設立
10月	石川眞澄氏が副市長に就任 放射能関連講演会開催 「事業仕分け」(第1回)を実施
平成24年 1月	かすみがうらのお城市開催 放射線の訪問測定を開始
3月	千代田庁舎の耐震工事に伴い、市民部、保健福祉部、 会計課を千代田公民館講堂に仮移転 「かすみがうら市総合計画後期基本計画」策定 県道石岡田伏土浦線バイパス全線開通 市内観光シャトルバス廃止
4月	美並駐在所開所 住宅用太陽光発電システム設置補助金募集開始
5月	土浦駅シャトルバス廃止
6月	霞ヶ浦広域バス運行開始

年	月	主なできごと
平成24年	8月	市政懇談会開催
	10月	第1回かすみがうらエンデューロ開催
平成25年	2月	ソーラ発電事業開始
	4月	土浦ケーブルテレビ株式会社と災害時における放送等に関する協定の締結 社団法人茨城トラック協会土浦支部と災害時における緊急 救援輸送等の協力に関する協定の締結
	6月	JAF 茨城県支部との連携協力に関する協定の締結
	7月	筑波山地域ジオパーク推進協議会に加入 株式会社常陽銀行神立支店及び出島支店と見守り活動への 協力に関する協定書の締結
平成26年	8月	千代田庁舎耐震工事完了し、業務再開
	3月	市立北中学校、南中学校閉校
	4月	市立霞ヶ浦中学校開校 市空き家情報登録制度「空き家バンク」実施
	5月	霞ヶ浦帆引き船、帆引き網漁法保存会設立
	7月	市長選挙が行われ、第4代市長に坪井透氏が当選 市議会議員補欠選挙
	8月	市制10周年記念事業「沖縄自然子ども探検隊」を実施
	10月	基幹系システムを自治体クラウドに移行 (常陸大宮市、那珂市、五霞町、かすみがうら市) 証明書発行自動交付機廃止 五輪堂橋開通
平成27年	1月	市議会議員選挙
	2月	市制10周年記念「竹内百太郎と伊東甲子太郎」のマンガ出版
	3月	農業委員会委員選挙
	4月	霞台厚生施設組合に加入
	5月	FRP製帆引き船「かすみがうら丸」進水式
	6月	横瀬典生氏が副市長に就任
平成28年	2月	市制施行10周年記念式典開催
	3月	市立下大津小学校、美並小学校、牛渡小学校、佐賀小学校、 安飾小学校、志士庫小学校、宍倉小学校閉校

年	月	主なできごと
平成28年	3月	マイナンバーカードによる証明書のコンビニ交付開始
	4月	市立霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校開校 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー設立
	7月	交流センターにて「かすみキッチン」営業開始
	9月	筑波山地域（つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市の6市で構成）が日本ジオパーク認定
	11月	つくば霞ヶ浦りんりんロード開通
平成29年	12月	やきいも焼酎「美並の恵」発売
	1月	郷土資料館が博物館として登録され、歴史博物館として開館
	3月	「第2次かすみがうら市総合計画」策定
	5月	かすみがうら市公式アプリ提供開始 旧小学校（下大津、牛渡、佐賀、志士庫小学校）活用事業基本協定書締結
平成30年	7月	「災害時等における自治体クラウド業務相互支援協定」締結 （常陸大宮市、那珂市、五霞町、大子町、かすみがうら市）
	1月	福島県いわき市と「原子力災害時におけるいわき市民の広域避難に関する協定」締結
	3月	<b>JR</b> 神立駅東西自由通路一部開通 市立さくら保育所閉所 かすみがうら市空家等対策協議会設立 ひたちなか市と「原子力災害におけるひたちなか市民の県内広域避難に関する協定」締結
	4月	地域活性化 DMO 推進事業（株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー）が、「J:COM ふるさと名品オブ・ザ・イヤー【おもてなし】部門賞」を受賞 大吟醸酒「ふくまる厳選米のお酒」発売
	5月	筑波大学、土浦協同病院、神立病院、かすみがうら市（中志筑、上志筑、高倉、五反田）で「生活習慣病予防健康づくりモデル事業協定」締結
	12月	茨城県解体工事業協同組合と「災害時における被災建築物等の解体撤去に関する協定」締結 市公式キャラクター「かすみがうにゃ」誕生

年 月	主なできごと
平成31年3月	JR 神立駅東西自由通路及び橋上駅舎の全面供用開始 都市計画道路「神立停車場線」一部開通
4月	かすみがうら市婚活サポートセンター開設
令和元年5月	第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」デモン ストレーション競技「ペタンク大会」開催（わかぐり運動公園）
8月	第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」デモン ストレーション競技「グランドゴルフ大会」開催（あじさい館）
9月	石岡市と「大規模水害時における広域避難の連携に関する 協定」締結
10月	千代田神立ライン運行開始
12月	石岡・土浦・市内郵便局と「地域における協力に関する協定」 締結
令和2年1月	特別養護老人ホーム「ふるさと」と「災害発生時における福祉 避難所の設置運営に関する協定」締結
2月	市道2583号線（西成井バイパス）開通 かすみがうら市新型コロナウイルス感染症対策本部発足
3月	都市計画道路「神立停車場線」全線開通 歩崎公園湖岸栈橋完成
4月	新型コロナウイルス感染症の影響による生活・雇用支援（特別 定額給付金、子育て世代への臨時特別給付金など）を実施
6月	かすみがうらウエルネスプラザ開館
7月	ゲストハウス古民家「江口屋」開館
10月	かすみエールプレミアム商品券第1弾販売開始 「かすみがうらライド・ビレッジ」初開催
令和3年3月	環境クリーンセンター、老人福祉センター「ふれあいの里」 閉館し、「霞台クリーンセンターみらい」へごみ処理施設移行 「かすみがうら市国土強靱化地域計画」策定
5月	かすみがうらウエルネスプラザで新型コロナウイルスワクチン の集団接種開始
8月	「(仮称) 千代田 PA スマートインターチェンジ」が国の準備段 階調査箇所に採択

年	月	主なできごと
令和3年	8月	一般社団法人茨城県環境保全協会と「災害時における災害し尿等の収集運搬の協力に関する協定」締結
	10月	自転車レース「JBCF かすみがうらタイムトライアル」、「JBCF かすみがうらロードレース」初開催（歩崎地域）
令和4年	3月	「第2次かすみがうら市総合計画後期基本計画」策定 行財政改革基本方針策定

## かすみがうら市の歩み（霞ヶ浦町編）

年	月	主なできごと
昭和30年	2月	下大津村、美並村、牛渡村、佐賀村、安飾村、志士庫村の六村が合併して「出島村」誕生 消防団結成 第1回村長選挙が行われ、初代村長に金塚豊氏が当選
	4月	出島広報第1刊発行
	5月	美並小学校にて合併祝賀式開催 消防団結団式開催
	7月	牛渡中学校（現小学校）竣工
	8月	出島村農業共済組合発足 村章決定
昭和31年	1月	第1回村議会議員選挙 教育委員選挙
	2月	農業委員選挙
	6月	東映映画「米」の撮影開始
	12月	役場支所廃止し、支所は地区公民館として発足
昭和32年	2月	役場新庁舎竣工
	6月	新市町村建設計画調整村に指定される
昭和33年	3月	「木造地蔵菩薩立像（通称：腹帯地蔵）」と「出島の椎」が県の重要文化財に指定を受ける
	4月	有線放送電話開通
	5月	出島揚水給水開始
	6月	北中学校発足（佐賀・安飾・志士庫の各中学校は廃校）
昭和34年	2月	青年研修所が竣工 村長選挙が行われ、第2代村長に塚本明氏が当選 「歩崎」が水郷筑波国定公園の特別地域に指定される
	4月	加茂の「椎名家住宅」が国の重要文化財に指定される
	7月	北中学校第一期工事完了
	9月	南中学校発足（下大津・美並・牛渡の各中学校は廃校）
	11月	第1回村民体育大会開催
昭和35年	1月	村議会議員選挙
	4月	出島村漁業協同組合発足

年	月	主なできごと
昭和35年	5月	柏崎簡易水道竣工 部落長会設立
	6月	南中学校第一期工事完了 北中学校第二期工事完了
	9月	出島村漁業協同組合発足
昭和36年	3月	南中学校校舎竣工
	8月	出島村商工会発足
	10月	下大津簡易水道竣工
	12月	土浦市と境界変更 土浦市から16世帯、33haが出島村へ 出島村から4世帯、13haが土浦市へ
昭和37年	2月	農業委員選挙
	6月	南中学校体育館竣工
昭和38年	1月	農業構造改善事業が始まる
	2月	村長選挙が行われ、第3代村長に金塚豊氏が当選 北中学校体育館竣工
	4月	初めてのヘリコプターによる空中防除
	7月	農村モデル図書館開館
	8月	金塚村長ヨーロッパ各地の土地改良事業等を視察
	10月	県道舗装新設工事第1号八千代台集落地内100m完成
	昭和39年	1月
4月		牛渡漁港竣工
10月		第1回村民野球大会開催
12月		高浜入干拓実施決定
昭和40年		2月
	4月	第一保育所開所
	7月	柏崎・浜間に県営渡舟就航
	8月	地籍調査事業開始
	12月	出島村農業協同組合発足

年	月	主なできごと
昭和41年	2月	教職員住宅竣工
	4月	第二、第三保育所開所
昭和41年	6月	全村水田に空中防除実施
昭和42年	2月	村公民館完成
		村長選挙が行われ、第4代村長に薬師寺精氏が当選
	4月	佐賀保育所開所
	8月	トロール漁業試験操業、帆引船は姿を消す
	11月	天神工業団地に「東京製鋼株式会社」「三晃プラスチック株式会社」の誘致決定
昭和43年	1月	村議会議員選挙
	2月	農業委員選挙
	7月	交通安全対策協議会発足
	10月	村体育館竣工 村道舗装新設工事着手（原・小津線）
昭和44年	3月	柏崎小学校が廃校となり、安飾小学校へ統合
	5月	集団赤痢発生
	8月	寝たきり老人に家庭奉仕委員派遣
昭和45年	4月	都市計画法による都市計画区域決定 南北中学校で完全給食実施
	8月	第1回村民球技大会開催
昭和46年	2月	村長選挙が行われ、第5代村長に薬師寺精氏が当選 役場庁舎増築工事完成
	3月	志士庫小学校西成井分校廃校
	6月	新生集落で公園墓地完成
	7月	南北中学校にプール竣工
	8月	観光帆引船処女帆走
	12月	地域集団自動電話開通
昭和47年	1月	村議会議員選挙
	3月	安飾小学校防音校舎竣工
	5月	燃えないゴミの収集開始
	11月	第1回出島村文化祭開催
昭和48年	1月	農業振興地域の指定を受ける

年	月	主なできごと
昭和48年	4月	歩崎に村営バンガロー完成
	11月	新生集落田園都市建設事業完成祝賀式
昭和49年	1月	農業委員選挙
	3月	第1回霞ヶ浦清掃大作戦が行われる 志士庫小学校防音校舎竣工
	4月	県道舗装新設工事全線完成
	7月	下大津・牛渡小学校プール竣工
	10月	宍倉小学校永久校舎竣工 第29回国民体育大会茨城県大会の炬火リレーが本村を通過 村公害防止条例施行
昭和50年	2月	村長選挙が行われ、第6代村長に坂本重道氏が当選
	3月	出島村総合計画策定
	4月	私立幼稚園「くりのみ幼稚園」開園
	6月	出島音頭が完成、村花・村木決定
	7月	安飾・宍倉小学校プール竣工
	11月	合併20周年記念式典開催
昭和51年	1月	村議会議員選挙（無投票） 冠婚葬祭の簡素化開始
	4月	志士庫保育所開所 ゴミ焼却場が完成し、生ゴミの回収開始
	5月	広域老人福祉センター開館
	7月	美並、志士庫小学校プール竣工 田伏、安飾地区県営ほ場整備事業着工
昭和52年	1月	牛渡小学校防音校舎竣工 農業委員選挙
	2月	湖北環境衛生組合の柏山浄化プラント竣工 新治地方広域消防出島分署開署
	4月	不燃物ゴミの処理開始
	6月	小中学校で米飯給食開始
	8月	南中学校夜間照明竣工
	9月	第1回ママさんバレーボールリーグ戦開催

年	月	主なできごと
昭和53年	3月	佐賀小学校防音校舎、屋内運動場竣工 (旧佐賀小学校と田伏小学校が統合)
		安飾小学校屋内運動場竣工
		第1回駅伝大会開催
	4月	農村総合整備モデル事業が始まる
	5月	佐賀農業協同組合に製茶工場竣工
	7月	佐賀小学校にプール竣工
		北中学校夜間照明竣工
	10月	一ノ瀬上流地区県営ほ場整備事業着工
		牛渡東部地区団体営ほ場整備事業着工
	11月	下大津農村集落センター竣工
昭和54年	1月	村営歯科診療所開設
	2月	牛渡、下大津小学校屋内運動場竣工
		村長選挙が行われ、第7代村長に坂本重道氏が当選(無投票)
	3月	記録映画「出島村風土記」完成
		美並小学校防音校舎竣工
		下大津保育所開所
	11月	名誉村民章授与式開催
12月	新治地方広域消防出島分署新庁舎竣工	
昭和55年	1月	村議会議員選挙
	3月	宍倉、志士庫小学校屋内運動場竣工
		下大津小学校防音校舎竣工
	7月	田伏中台地区村営ほ場整備事業着工
	8月	坂本村長がヨーロッパの農業事情を視察
昭和56年	1月	第2次出島村総合計画策定
	3月	第1回クロッケー大会開催
		美並小学校屋内運動場竣工
	6月	霞ヶ浦大橋架設ルート決定
	7月	地積調査終了
	10月	村障害者スポーツ大会開催

年	月	主なできごと	
昭和57年	1月	坂湖岸地区土地改良総合整備事業着工 外葉地区村営ほ場整備事業着工	
	3月	安飾地区多目的集会施設竣工 牛渡地区公民館竣工 宍倉小学校増築校舎竣工	
	4月	神立周辺誘致高校（土浦湖北高校）開校	
	5月	「へいさんぼう」に神馬復活	
	7月	下大津小学校に保育室とプール竣工	
	8月	坂本村長が行政視察のため訪米	
	9月	霞ヶ浦富栄養化防止条例施行	
	10月	上水道第3次拡張事業着手	
	11月	ゆたかな村づくりパイロット事業のモデル村に指定	
	昭和58年	1月	多目的運動広場完成
		2月	村長選挙が行われ、第8代村長に坂本重道氏が当選（無投票）
3月		出島村農業協同組合梨選果場竣工 北中学校防音校舎竣工 出島村漁業協同組合で魚種転換用の種苗生産施設竣工 志士庫地区公民館竣工 有線放送廃止 歩崎公園竣工	
4月		公共下水道供用開始（天神・鹿ノ山地区）	
8月		坂本村長が行政視察のため訪欧 観光帆引船復活	
10月		多目的運動広場にテニスコート、管理棟、子供広場竣工	
昭和59年		1月	村議会議員選挙
	4月	村空き缶回収に関する条例施行 防災行政無線局開局	
	11月	農村環境改善センター開館	
昭和60年	1月	霞ヶ浦大橋工事着工	
	2月	社会福祉法人出島村社会福祉協議会が発足 志戸崎・田伏地区で小規模下水道事業着工	

年	月	主なできごと
昭和60年	3月	歩崎公園内に生産物直売所開設 出島勤労者体育センター開館 第2保育所防音改築工事完了 歩崎展望台設置
	7月	国際科学技術博覧会（科学万博つくば'85）「出島村の日」
	9月	坂中部地区村営ほ場整備事業着工
	10月	出島村民憲章制定 部落長を区長に、部落を集落に名称変更 美並地区土地改良総合整備事業着工
	11月	合併30周年記念式典開催
昭和61年	1月	第1回村民マラソン大会開催
	2月	菱木上流地区県営ほ場整備事業着工
	3月	第1・第3保育所防音改築工事完了 上水道第3次拡張工事による新浄水場からの通水開始 南中学校防音校舎竣工
	4月	坂本村長行政視察のため訪中
昭和62年	2月	村長選挙が行われ、第9代村長に坂本重道氏が当選
	3月	霞ヶ浦大橋開通 教職員住宅竣工 第3次出島村総合計画策定
	4月	郷土資料館開館 保健センター開館
	6月	坂本村長行政視察のためオーストラリアへ
	11月	第1回村民体育祭開催 第1回産業文化祭開催
昭和63年	1月	村議会議員選挙
	3月	北中学校屋内運動場・柔剣道場竣工 郷土資料館大手門・庭園完成 田伏・安飾、一ノ瀬上流、外葉ほ場整備完了
	4月	内加茂集落センター竣工
	8月	南中学校柔剣道、屋内運動場新・改築工事着工 第1回あゆみ祭り開催

年	月	主なできごと
昭和63年	10月	第11回全国消防操法大会に村消防団出場
	11月	歩崎森林公園開園
平成元年	3月	深谷・大和田・田伏・志戸崎バイパス路線決定
	4月	南中学校柔剣道場・屋内運動場竣工 特別環境保全公共下水道事業供用開始（志戸崎・田伏地区）
	6月	レンコン県銘柄産地指定を受ける 農村下水道田伏浄化センター通水開始
	7月	第1回ミス出島コンテスト開催
	9月	外国人の英語指導助手着任する（南中）
平成2年	2月	第1回村民綱引き大会開催
	3月	志戸崎・田伏地内上水道第3次拡張事業完成
	4月	霞ヶ浦水族館開館
平成2年	5月	坂本村長急逝・村葬、出島村名誉村民
	6月	村長選挙が行われ、第10代村長に宮嶋光昭氏が当選
	11月	合併35周年記念式典開催 銘木・巨木・珍木35本選定 第1回村民のつばさ実施（マレーシア・オーストラリア・ニュージーランド）
平成3年	1月	第1回かすみがうらマラソン大会開催
	4月	出島村西部出張所開所 あゆみ庵竣工
	6月	中国臨桂県から広西水稻育苗訪日研修団来訪
平成4年	1月	村議会議員選挙 農業委員選挙
	5月	郷土資料館入館者35万人突破
	6月	出島村国際交流推進協議会が設立される 第4次出島村総合計画策定
	11月	第1回少年のつばさ実施（オーストラリア）
	12月	歩崎公園内に民家園を移設
平成5年	4月	南北中学校でコンピューター授業開始
	6月	柏崎・上根地区農業集落排水事業供用開始

年	月	主なできごと
平成 6年	1月	さざなみ通信開局
	2月	土浦農業協同組合発足 出島村老人福祉計画策定
	4月	富士見塚古墳公園に展示館会館
	6月	村長選挙が行われ、第11代村長に郡司豊廣氏が当選
	10月	3歳未満児の医療費無料制度開始
		新治地方ゴミ処理場「環境クリーンセンター」竣工
平成 7年	2月	霞ヶ浦シンポジウム開催
	4月	在宅ケアシステム開始
		在宅介護支援センター開始
	5月	大和田地区農業集落排水事業供用開始
	8月	広域火葬場「霞ヶ浦聖苑」玉造町に開設 第1回ドラゴンボートレース開催
平成 7年1	1月	東京都板橋区と災害時相互援助協定を締結 新食糧法施行
	1月	村議会議員選挙
平成 8年	3月	村歯科診療所廃止
	4月	市街化区域内の用途地域一部指定変更
		ミニ・シルバー人材センター設立
	5月	霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟会結成
	9月	霞ヶ浦町にする条例、村議会で可決
	10月	村民ふれあいスポーツ祭開催
11月	印鑑証明、住民票の自動交付機稼動	
平成 9年	4月	町制施行により「霞ヶ浦町」となる
		「霞ヶ浦町」町章決定
	5月	水族館入館者65万人を突破
		志士庫駐在所新築移転
	7月	県中央広域水道用水通水開始
	8月	霞ヶ浦町少年交通安全委員会発足
	9月	霞ヶ浦十景を選定
	平成10年	1月
3月		深谷地区農業集落排水事業の一部供用開始

年	月	主なできごと
平成10年	4月	あじさい館開館
	6月	町長選挙が行われ、第12代町長に郡司豊廣氏が当選(無投票) 水族館入館者70万人を突破
平成11年	3月	地域振興券交付
	6月	水族館入館者75万人を突破
	9月	霞ヶ浦音頭完成
	11月	いばらき湖沼環境フェアIN霞ヶ浦99開催 「こども環境会議」開催
平成12年	1月	町議会議員選挙
	4月	下大堤駐在所が新築完成し開所 農産物直売所「地域活性化センター」オープン
	12月	霞ヶ浦町2020タイムカプセル記念式典開催
平成13年	1月	21世紀に残す日本の風景遺産100選(財休暇村協会&読売新聞社)に霞ヶ浦の観光帆引き船が選ばれる 農業委員選挙
	2月	生涯学習推進に名人バンク設立
	4月	介護保険制度の広域運営開始(新治地方広域事務組合へ移行)
	7月	国道354号深谷バイパス開通
	11月	わかさぎサミット開催
	12月	高規格救急車配備
	3月	霞ヶ浦町総合計画後期基本計画策定
平成14年	4月	叙勲祝賀会開催
	6月	町長選挙が行われ、第13代町長に郡司豊廣氏が当選
	9月	戸籍事務電算化
	2月	水族館入館者90万人突破
平成15年	7月	第45回自然公園大会開催 志戸崎・田伏バイパス開通
	12月	霞ヶ浦町・千代田町第1回合併協議会開催
	1月	町議会議員選挙 農業委員選挙
平成16年	6月	水族館入館者95万人突破

年	月	主なできごと
平成16年	7月	新しい帆引き船の進水式 「電子申請・届出システム」開始
平成16年	8月	「かすみがうら市」が新市名称に決定
	10月	霞ヶ浦町・千代田町合併協定調印式 霞ヶ浦町と千代田町の合併申請を県知事へ提出 椎名家住宅で能が催される
平成17年	3月	霞ヶ浦町閉町式典開催

## かすみがうら市の歩み（千代田町編）

年	月	主なできごと
昭和29年	3月	志筑村、新治村、七会村の三村が合併して「千代田村」が誕生 役場を中志筑の旧志筑村役場に、東支所を西野寺の旧新治村役場に、西支所を中佐谷の旧七会村役場に設置 村長職務代理者に旧新治村長の竹村潔氏が就任
	4月	第1回村長選挙が行われ、初代村長に川俣惣右衛門氏が当選
	10月	役場新庁舎建設着工
昭和30年	1月	第1回村議会議員選挙
	4月	役場新庁舎竣工
	11月	第1回千代田村文化祭開催
昭和31年	5月	統合中学校敷地が上佐谷四万騎地区に内定すると同時に、敷地の是非をめぐって議論がわかれ、反対運動が起こり、のちに分村運動までに発展
	10月	東部地区公民館竣工 千代田中学校建設工事着工
昭和32年	4月	千代田中学校第一期工事完了
	7月	有線放送電話開通 各支所廃止 分村運動終息
昭和33年	3月	千代田中学校第1回卒業式開催 村長選挙が行われ、第2代村長に梁田正義氏が当選
	4月	千代田中学校第二期工事完了
	12月	新治農業協同組合の稚蚕共同飼育所、志筑農業協同組合の共同集荷所が、新農村建設事業により竣工
昭和34年	1月	村議会議員選挙
	3月	新農村建設事業による下志筑地内の暗渠排水事業及び下土田の梨園かん水事業竣工
	5月	東部地区公民館で新治地区の季節保育所開設（春秋2期）
	12月	新農村建設事業による共同給水施設が馬立、下稲吉、横堀、二子塚に設置
昭和35年	3月	地籍調査実施委員会が結成され、地籍調査開始
	12月	新農村建設事業による共同給水施設が市川、下佐谷、上志筑、五反田、上稲吉に設置

年	月	主なできごと
昭和36年	5月	千代田村商工会結成 千代田中学校体育館、青年研修所竣工
	6月	集中豪雨により道路橋梁に被害が発生
	8月	上稲吉向原工業団地の買収開始
昭和37年	3月	村長選挙が行われ、第3代村長に梁田正義氏が当選 村議会議員補欠選挙
	9月	村合同の敬老会開催
	11月	村合同の七つの祝開催
	12月	村の南部地区（740ha）が土浦都市計画区域に編入
昭和38年	1月	村議会議員選挙
	3月	都市計画道路（4路線）決定
	4月	教育実験地区に県から指定される
	6月	ヘリコプターによる水田空中防除
	7月	向原工業団地が竣工、分譲開始
	8月	村南部地域が首都圏整備法による都市開発地域の指定を受ける（土浦・阿見都市計画区域） 中志筑の「木造十一面千手観音立像」ほか3点が、県の指定文化財を受ける
	12月	第1回千代田村教育振興大会開催
	昭和39年	4月
6月		千代田中学校プール竣工 梁田村長が欧米視察 逆西工業団地で立地企業の操業開始
10月		東京オリンピック聖火リレーが村内通過
昭和40年	2月	天の川改修工事完成
	7月	千代田村体育協会結成 西山工業団地竣工
	8月	西山工業団地の分譲開始
	9月	七会農業協同組合の共同集荷所完成
	10月	教育実験地区完結発表会開催
昭和41年	1月	下稲吉小学校増築工事竣工
	3月	村長選挙が行われ、第4代村長に梁田正義氏が当選

年	月	主なできごと
昭和41年	3月	村議会議員補欠選挙
	5月	土浦・千代田工業団地の分譲開始
	7月	土浦・千代田工業団地造成事業竣工
	10月	志筑小学校がソニー理科教育振興資金を受ける
昭和42年	1月	村議会議員選挙
	2月	国道6号線西野寺歩道橋開通
	8月	千代田中学校女子バレーボール部が北関東中学校大会で優勝
昭和43年	6月	中志筑地区の水田ほ場整備事業竣工
	12月	村内13ヶ所に「ちびっこ広場」を設置
昭和44年	2月	雪入、上佐谷地区西北部の山岳地帯が水郷筑波国定公園に編入される
	4月	志筑小学校（永久校舎）竣工
	10月	五輪堂橋（永久橋）竣工
昭和45年	3月	新治小学校建設第一期工事完了 村長選挙が行われ、第5代村長に梁田正義氏が当選
	4月	千代田村史発刊 都市計画区域が変更され、土浦・阿見都市計画区域となり、村全域が都市計画区域となる
	12月	下稲吉地区の簡易水道給水開始
	昭和46年	1月
昭和46年	3月	市街化区域と市街化調整区域が決定（市街化区域545ha） 農業振興地域指定
	9月	国鉄味覚列車「栗ひろい号」が上野～土浦間に運転され、観光農園が賑わう
	12月	農林省園芸試験場、林業試験場の試験地が村内上志筑に決定、用地買収始まる
	昭和47年	6月
7月		中志筑の「木造十一面千手観音立像」収蔵庫竣工
9月		千代田村公害防止条例制定
10月		村立第一保育所（上稲吉）、第二保育所（中志筑）開所
12月		県営ほ場整備事業が恋瀬川右岸地区、千代田・石岡地区で着工

年	月	主なできごと
昭和48年	7月	光化学スモック情報が頻繁に発令され受令機設置
	10月	村立第三保育所（下稲吉）開所
		下稲吉小学校合同竣工（校舎・体育館・プール）
	11月	千代田村合併20周年記念式典開催
12月	常磐自動車道インターチェンジの概略発表	
昭和49年	1月	新庁舎建設地鎮祭
	3月	村長選挙が行われ、第6代村長に梁田正義氏が当選
	4月	千代田村土地開発公社設立
		土田地区簡易水道事業通水開始
	5月	常磐自動車道（千代田～日立）路線発表
	8月	「新治地方環境衛生組合」を設立し、塵芥焼却場の建設計画に着手
昭和50年	11月	筑波ブロック広域観光協議会結成
	12月	役場新庁舎が竣工、「村章」制定
昭和51年	4月	役場南部出張所開設
	5月	千代田村観光協会発足
	6月	七会小学校（永久校舎）竣工
	7月	村立第四保育所（下稲吉）開所
昭和52年	4月	千代田村基本構想決定
	5月	新治地方環境衛生組合のごみ焼却場、老人福祉センター開所
	7月	県指定文化財旅籠「皆川屋」の修理完了
	8月	村民と村長の「対話の日」を設定
昭和53年	1月	母子家庭の医療費無料化
	3月	志筑、新治農業協同組合「育苗センター」竣工
	6月	降雹により農作物に大きな被害が出る
	7月	新治広域消防業務開始
	8月	第1回線引きの見直し実施
	12月	西野寺地内に村営グラウンド完成
昭和54年	3月	村長選挙が行われ、第7代村長に梁田正義氏が当選 村議会議員補欠選挙
	6月	松くい虫被害をヘリコプターにより空中防除
	9月	指定金融機関制度発足

年 月	主なできごと
昭和53年10月	下稲吉地内に村営グラウンド完成
11月	第1回老人スポーツ大会開催 中央公民館竣工、千代田音頭発表会開催
昭和54年4月	村立下稲吉東小学校新設開校
6月	休日夜間緊急診療（石岡メディカルセンター）開始
7月	下稲吉東小学校（体育館・プール）竣工
10月	電算機（コンピューター）導入 志筑、野寺地区簡易水道拡張事業完成
昭和55年1月	七会小学校校舎増築工事竣工
4月	自然休養村、緑の村整備事業で第1・第2常陸野公園完成
8月	村長選挙が行われ、第8代村長に由波正氏が当選
10月	上稲吉、佐谷地区簡易水道拡張事業完成 役場事務機構が改革され、村民相談室設置
昭和56年4月	下稲吉中学校新設開校
7月	下稲吉中学校（体育館・プール）竣工
8月	上佐谷小学校（プール）竣工
10月	千代田村基本構想、基本計画改定
11月	第1回ちよだまつり開催
昭和57年2月	上佐谷小学校（永久校舎・体育館）竣工
3月	常磐自動車道（谷田部～千代田石岡）開通
4月	保健センター開館
8月	第1回商工青年祭開催
12月	村公共下水道一部供用開始
昭和58年1月	村議会議員選挙
4月	B&G海洋センター竣工 本村小・中学校全校が文部省徳育教育研究協同推進校に指定される
6月	千代田中学校校舎、勤労青少年ホーム竣工
昭和59年1月	志筑小学校体育館竣工
3月	村長選挙が行われ、第9代村長に金子政美氏が当選 福祉のまちづくり計画策定 七会農業協同組合梨、柿協同選果場竣工

年	月	主なできごと
昭和59年	4月	児童公園竣工
	6月	空き缶等の散乱防止に関する条例制定
	8月	千代田村科学万博を成功させる会発足
	11月	合併30周年記念式典開催（名誉村民に三氏決定）
昭和60年	4月	下稲吉児童館開館
	9月	国際科学技術博覧会（科学万博つくば'85）「千代田村の日」
昭和61年	3月	千代田中学校柔剣道場竣工 千代田村第3次総合計画策定
	8月	台風10号による被害を受ける
	10月	第1回村民運動会開催
	11月	村議会議員選挙
昭和62年	1月	村議会議員選挙
	2月	村内三農業協同組合が合併し、千代田村農業協同組合発足
	3月	中央公民館講堂、働く婦人の家、新治小学校体育館、大塚ファミリー公園、第一常陸野公園夜間照明竣工
	5月	一村一品運動として梨ワイン「梨鳳」発売
昭和63年	2月	村長選挙が行われ、第10代村長に金子政美氏が当選
	3月	勤労者体育センター竣工
	6月	東日本最古の製鉄跡発掘
平成元年	2月	閑居山と成沢・竜ヶ峰のヤマザクラが茨城自然百選に選定される 雪入温泉発見
	3月	フルーツ公園通り竣工 高齢者センター（平成館）竣工
	4月	晩霜により農作物に被害を受ける
	5月	千代田村社会福祉協議会法人化
	8月	外国青年誘致事業でダニエル・ロマノ氏が英語指導助手として着任
	2年10月	第1次住居表示整備事業により、下稲吉の一部が「稲吉」になる
	11月	ちよだ太鼓誕生 第1回千代田村社会福祉大会開催

年	月	主なできごと	
平成 3年	1月	村議会議員選挙	
	3月	七会小学校体育館改築竣工	
		三ツ石森林公園竣工	
	4月	土田地区農業集落排水処理施設供用開始 千代田村交通安全対策推進協議会が発足 「茨城県総合農業公園」誘致活動で総合公園推進室設置	
平成 3年	5月	晩霜により農作物に被害を受ける	
	6月	千代田村「C I 計画」策定	
	7月	雪入温泉掘削工事着手	
	9月	台風18号による被害発生	
平成 4年	1月	町制施行により「千代田町」となる 第2年次住居表示整備事業により、下稲吉の一部が「稲吉東」になる	
	2月	町長選挙が行われ、第11代町長に金子政美氏が当選	
	3月	地域防災無線を整備	
	4月	C I 計画の一環としてシンボルマーク、ロゴマーク、メインビジュアルを制定 千代田村農業協同組合が茨城千代田農業協同組合となる	
	7月	町制施行記念「町民号」実施	
	平成 5年	1月	第3次住居表示整備事業により、下稲吉の一部が「稲吉南」になる
		3月	さくら保育所竣工 第10回全国都市緑化いばらき（グリーンフェア93茨城）開幕 金子正美町長急逝・町葬、千代田町名誉町民
平成 5年	4月	千代田中学校屋内運動場竣工 町長選挙が行われ、第12代町長に鈴木三男氏が当選 ふれあいふるさとづくり事業創設（平成5年度から平成7年度）	
	平成 6年	4月	大塚自然体験の森公園開園 「広報ちよだ」が創刊300号（縮刷版を発刊）
11月		町営グラウンドテニスコートの一部が人工芝に改良	

年	月	主なできごと
平成 7年	1月	町議会議員選挙
	2月	生涯学習フェスティバル開催
	3月	第4次千代田町総合計画策定
		新治地方広域事務組合「環境クリーンセンター」竣工
		わかぐり保育所竣工
		逆西9区集会所竣工
	4月	新治小学校の校舎大規模改造工事完了
	10月	町営駐車場と駐輪場竣工
		町づくりに参画していただくため「住民提案」制度を導入
	11月	第1回子ども議会開催
平成 8年	3月	大塚ふれあいセンター・大塚児童公園竣工
	4月	雪入ふれあいの里公園ネイチャーセンター竣工
	6月	市街化区域で「新用途地域」を施行
		地域づくり助成事業創設
		千代田町老人デイサービス事業開始
	7月	農業委員選挙
10月	千代田町行政改革大綱策定	
平成 9年	1月	公民館まつり開催
	3月	町長選挙が行われ、第13代町長に鈴木三男氏が当選(無投票)
		やまゆり保育所竣工
	4月	稲吉ふれあい公園開園、雪入ふれあいの里公園、三ッ石森林公園開園
	9月	町のホームページを開設
平成10年	2月	町ガイドマップ発刊
	3月	C I計画による公共施設誘導サイン整備
	10月	茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業でまちづくりグットデザイン賞受賞
平成11年	1月	町議会議員選挙
	3月	地域振興券交付
	7月	農業委員選挙
平成12年	4月	千代田町情報公開条例施行

年	月	主なできごと
平成12年	9月	戸籍事務電算化
	11月	千代田町西暦2000年記念式典開催 「町の鳥」が「めじろ」に決定 第20回ちよだまつり開催 ～四万騎鍋登場～
平成13年	3月	町長選挙が行われ、第14代町長に鈴木三男氏が当選(無投票)
	4月	南部出張所移転 介護保険制度の広域運営開始(新治地方広域事務組合へ移行) 逆西防災施設竣工
	7月	ちよだ地域子育て支援センター開設
平成14年	6月	一部地域でケーブルテレビの利用が可能になる
	7月	農業委員選挙
	10月	町ホームページを一新
	11月	第22回ちよだまつり ～町制10周年記念事業として開催
平成15年	3月	上稲吉に「獅子やぐら・獅子小屋」完成
	7月	町道2784号線「千代田大橋」開通
	10月	千代田町教育支援センター開設
	12月	霞ヶ浦町・千代田町第1回合併協議会開催
平成16年	3月	町都市計画マスタープラン策定
	5月	土浦・阿見都市計画用途地域変更
	8月	「かすみがうら市」が新市名称決定
	10月	霞ヶ浦町・千代田町合併協定調印式 霞ヶ浦町と千代田町の合併申請を県知事へ提出
平成17年	3月	千代田町閉町記念式典開催

グラフで見る  
かすみがうら市

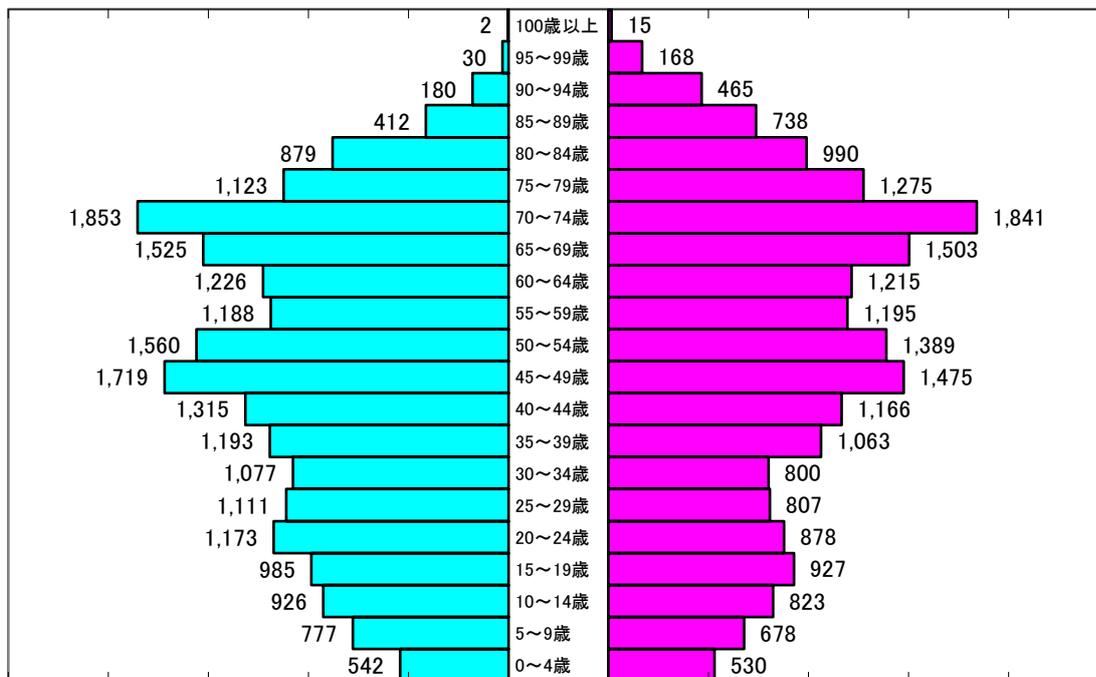


# 人口ピラミッド(令和4年1月1日現在)

■男 ■女

人

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500



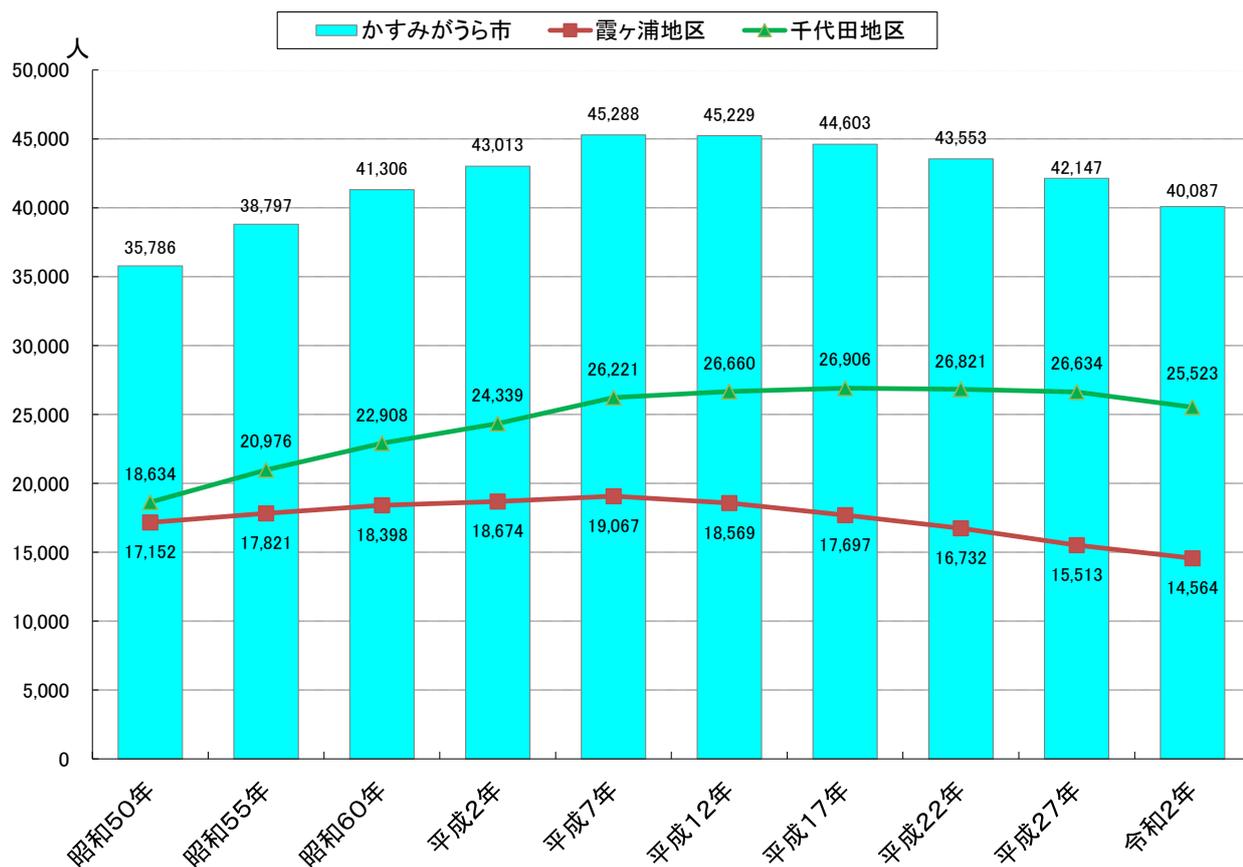
2,500 2,000 1,500 1,000 500 0

人

## 住民基本台帳人口(令和4年1月1日現在)

年齢 \ 性別	男	女	計
0~4歳	542	530	1,072
5~9歳	777	678	1,455
10~14歳	926	823	1,749
15~19歳	985	927	1,912
20~24歳	1,173	878	2,051
25~29歳	1,111	807	1,918
30~34歳	1,077	800	1,877
35~39歳	1,193	1,063	2,256
40~44歳	1,315	1,166	2,481
45~49歳	1,719	1,475	3,194
50~54歳	1,560	1,389	2,949
55~59歳	1,188	1,195	2,383
60~64歳	1,226	1,215	2,441
65~69歳	1,525	1,503	3,028
70~74歳	1,853	1,841	3,694
75~79歳	1,123	1,275	2,398
80~84歳	879	990	1,869
85~89歳	412	738	1,150
90~94歳	180	465	645
95~99歳	30	168	198
100歳以上	2	15	17
計	20,796	19,941	40,737

# 人口の推移

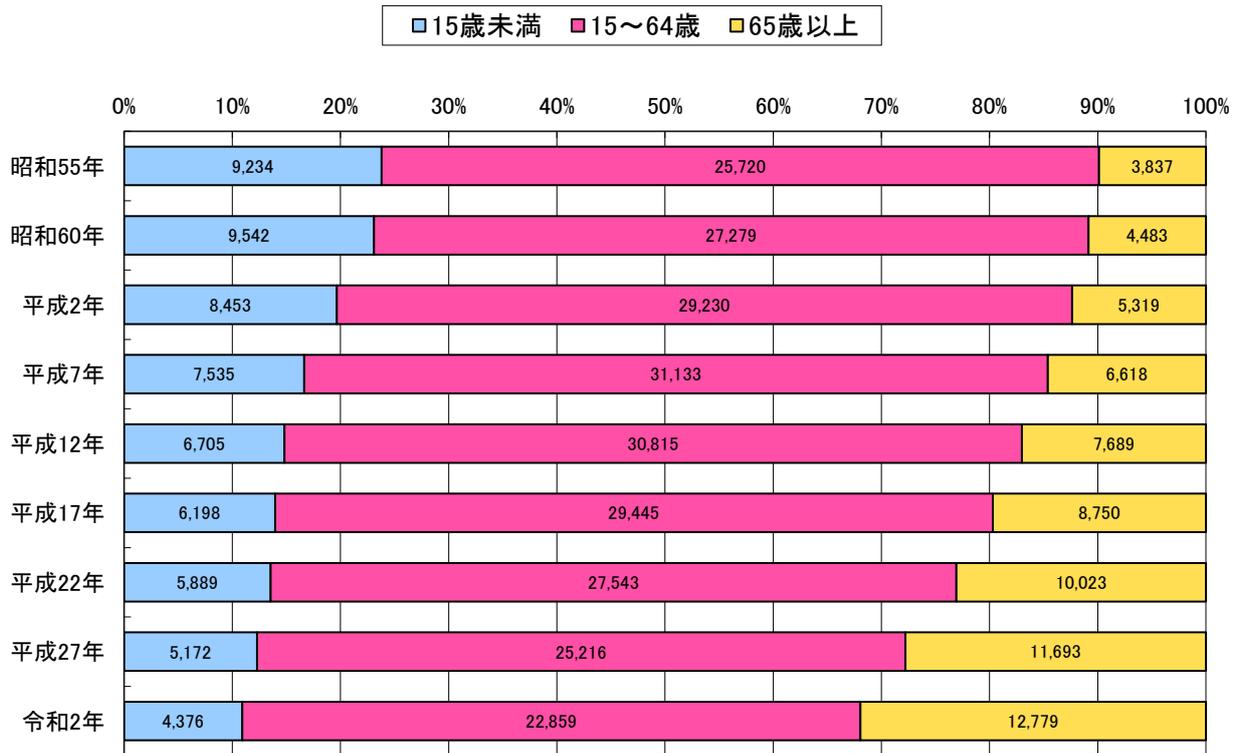


各年10月1日現在

調査実施年	人口総数（人）		
	かすみがうら市	霞ヶ浦地区	千代田地区
昭和50年	35,786	17,152	18,634
昭和55年	38,797	17,821	20,976
昭和60年	41,306	18,398	22,908
平成2年	43,013	18,674	24,339
平成7年	45,288	19,067	26,221
平成12年	45,229	18,569	26,660
平成17年	44,603	17,697	26,906
平成22年	43,553	16,732	26,821
平成27年	42,147	15,513	26,634
令和2年	40,087	14,564	25,523

資料：国勢調査

# 年齢3区分別人口及び人口割合



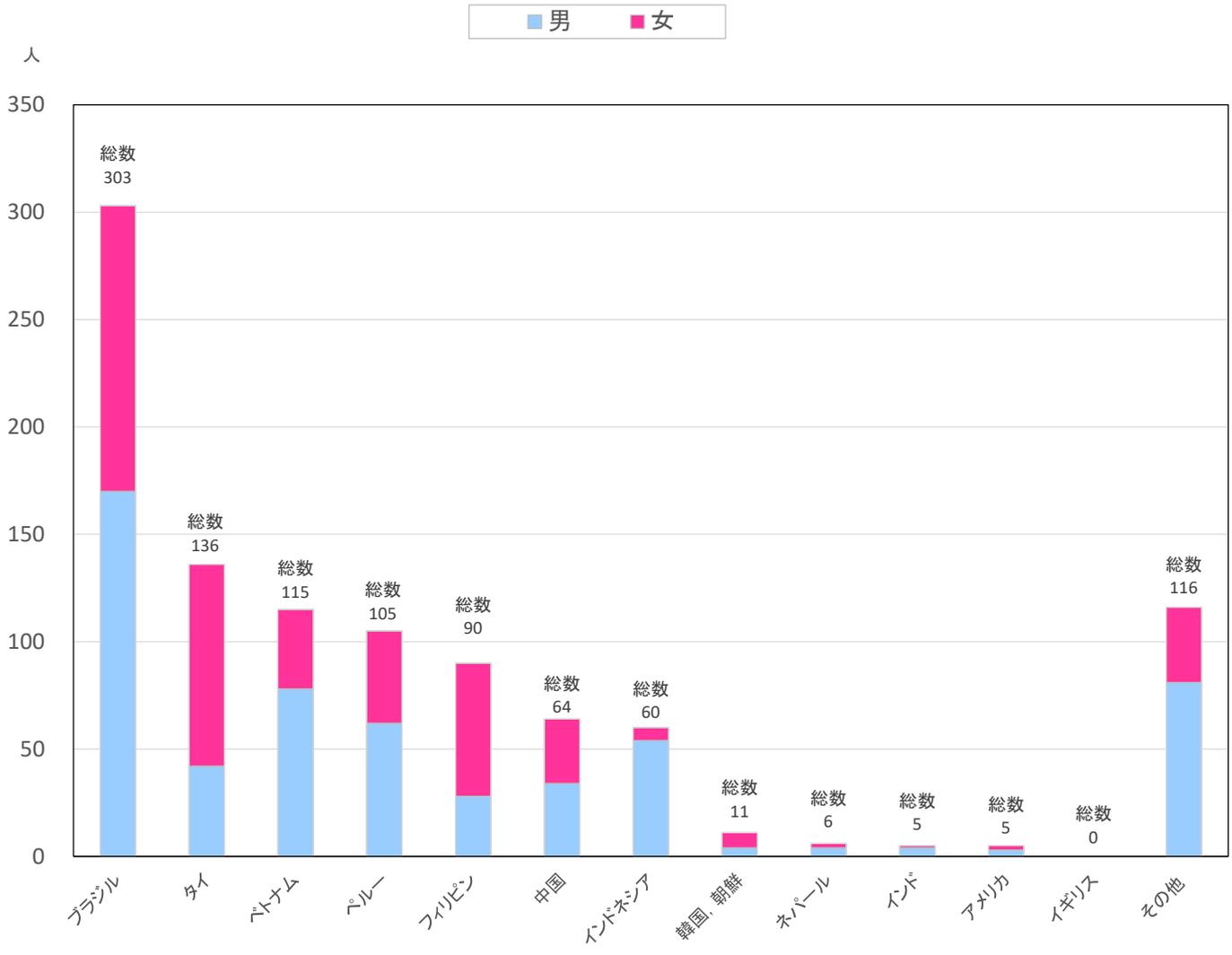
各年10月1日現在

	人 口 (人)											
	総 数			男				女				
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数
昭和55年	9,234	25,720	3,837	38,791	4,667	13,238	1,649	19,554	4,567	12,482	2,188	19,237
昭和60年	9,542	27,279	4,483	41,304	4,944	14,101	1,871	20,916	4,598	13,178	2,612	20,388
平成2年	8,453	29,230	5,319	43,002	4,315	15,297	2,179	21,791	4,138	13,933	3,140	21,211
平成7年	7,535	31,133	6,618	45,286	3,942	16,315	2,803	23,060	3,593	14,818	3,815	22,226
平成12年	6,705	30,815	7,689	45,209	3,449	16,101	3,319	22,869	3,256	14,714	4,370	22,340
平成17年	6,198	29,445	8,750	44,393	3,217	15,214	3,839	22,270	2,981	14,231	4,911	22,123
平成22年	5,889	27,543	10,023	43,455	3,001	14,306	4,454	21,761	2,888	13,237	5,569	21,694
平成27年	5,172	25,216	11,693	42,081	2,697	13,195	5,383	21,275	2,475	12,021	6,310	20,806
令和2年	4,376	22,859	12,779	40,014	2,273	12,150	5,866	20,289	2,103	10,709	6,913	19,725

資料：国勢調査

注) 年齢不詳者数は含めない。

# 国籍別外国人人口



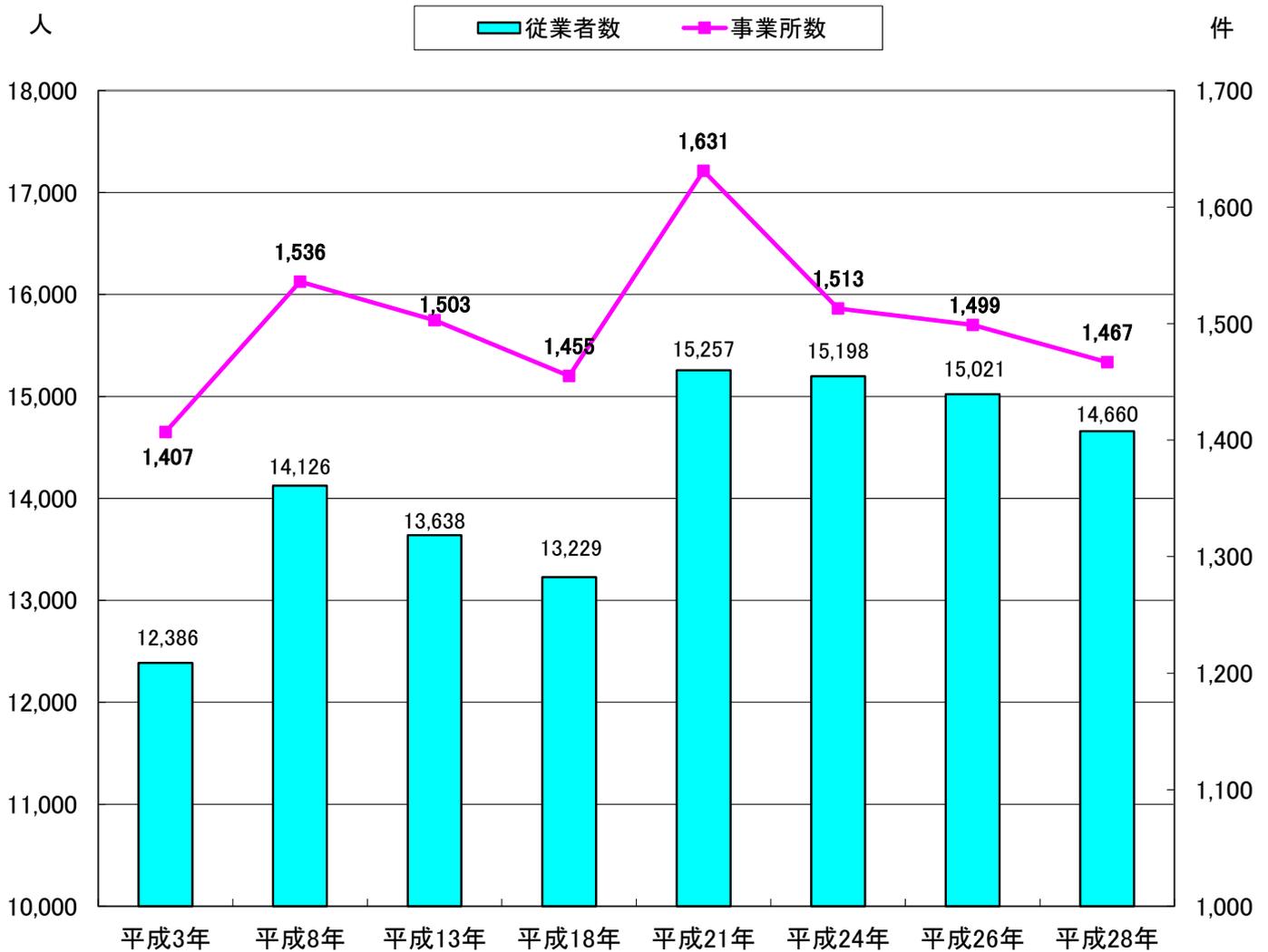
令和2年10月1日現在 単位：人

国籍・地域名	男	女	総数
ブラジル	170	133	303
タイ	42	94	136
ベトナム	78	37	115
ペルー	62	43	105
フィリピン	28	62	90
中国	34	30	64
インドネシア	54	6	60
韓国、朝鮮	4	7	11
ネパール	4	2	6
インド	4	1	5
アメリカ	3	2	5
イギリス	—	—	—
その他	81	35	116
外国人総数	564	452	1,016

資料：国勢調査

注) その他には、無国籍及び国名「不詳」の者を含む。

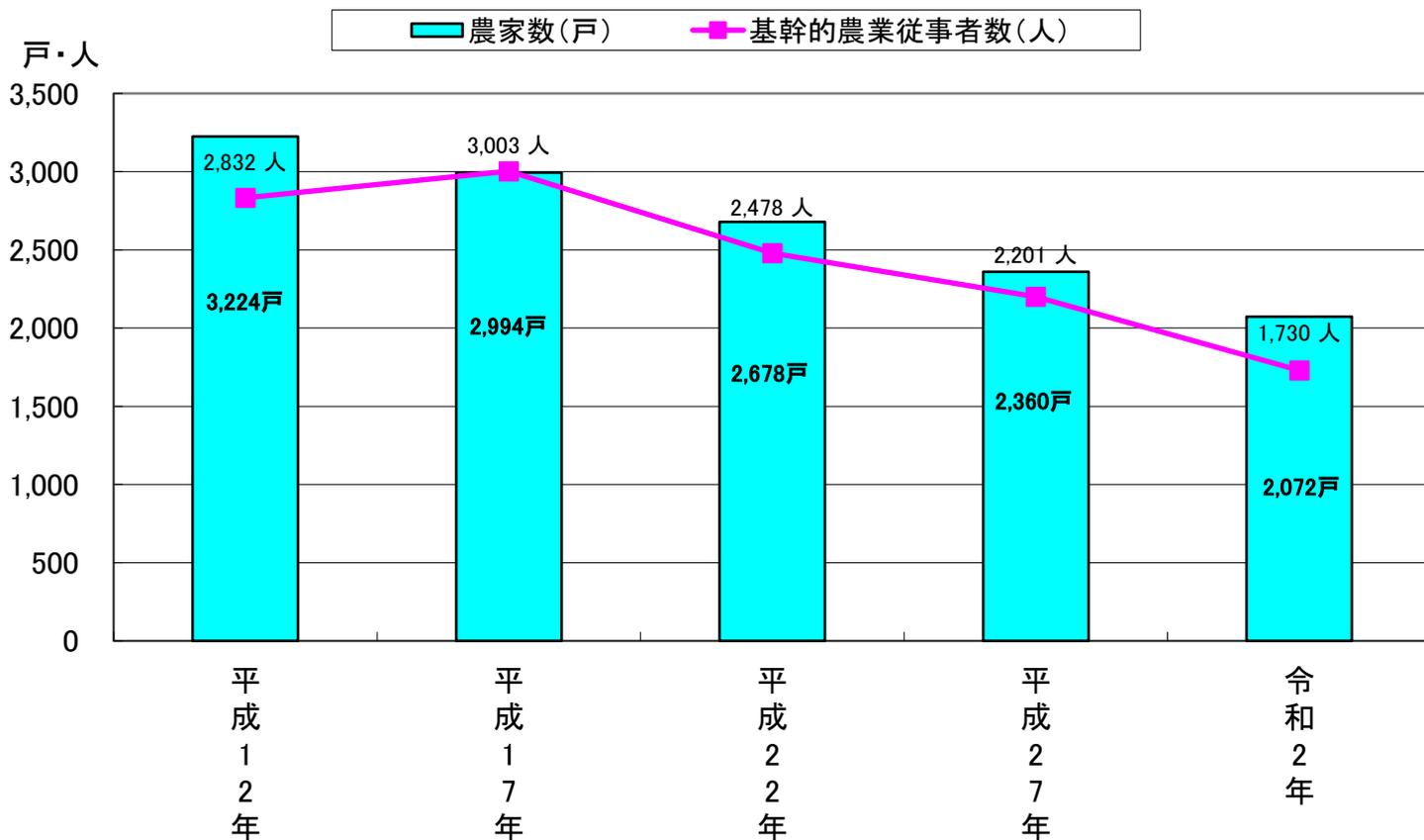
# 市内民営事業所及び従業者数の推移



	かすみがうら市		霞ヶ浦地区		千代田地区	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
平成3年	1,407	12,386	590	5,428	817	6,958
平成8年	1,536	14,126	590	5,291	946	8,835
平成13年	1,503	13,638	597	5,745	906	7,893
平成18年	1,455	13,229	—	—	—	—
平成21年	1,631	15,257	—	—	—	—
平成24年	1,513	15,198	—	—	—	—
平成26年	1,499	15,021	—	—	—	—
平成28年	1,467	14,660	—	—	—	—

資料: 事業所・企業統計調査(平成3、8、13、18年)  
 経済センサス-基礎調査(平成21、26年)  
 経済センサス-活動調査平成24、28年)

# 市内農家数及び基幹的農業従事者数の推移



各年2月1日現在

	かすみがうら市		霞ヶ浦地区		千代田地区	
	農家数(戸)	基幹的農業従事者数(人)	農家数(戸)	基幹的農業従事者数(人)	農家数(戸)	基幹的農業従事者数(人)
平成12年	3,224	2,832	1,942	1,588	1,282	1,244
平成17年	2,994	3,003	1,773	1,755	1,221	1,248
平成22年	2,678	2,478	1,578	1,503	1,100	975
平成27年	2,360	2,201	1,425	1,359	935	842
令和2年	2,072	1,730	1,221	1,062	851	668

資料: 農林業センサス結果の概要(確定値)

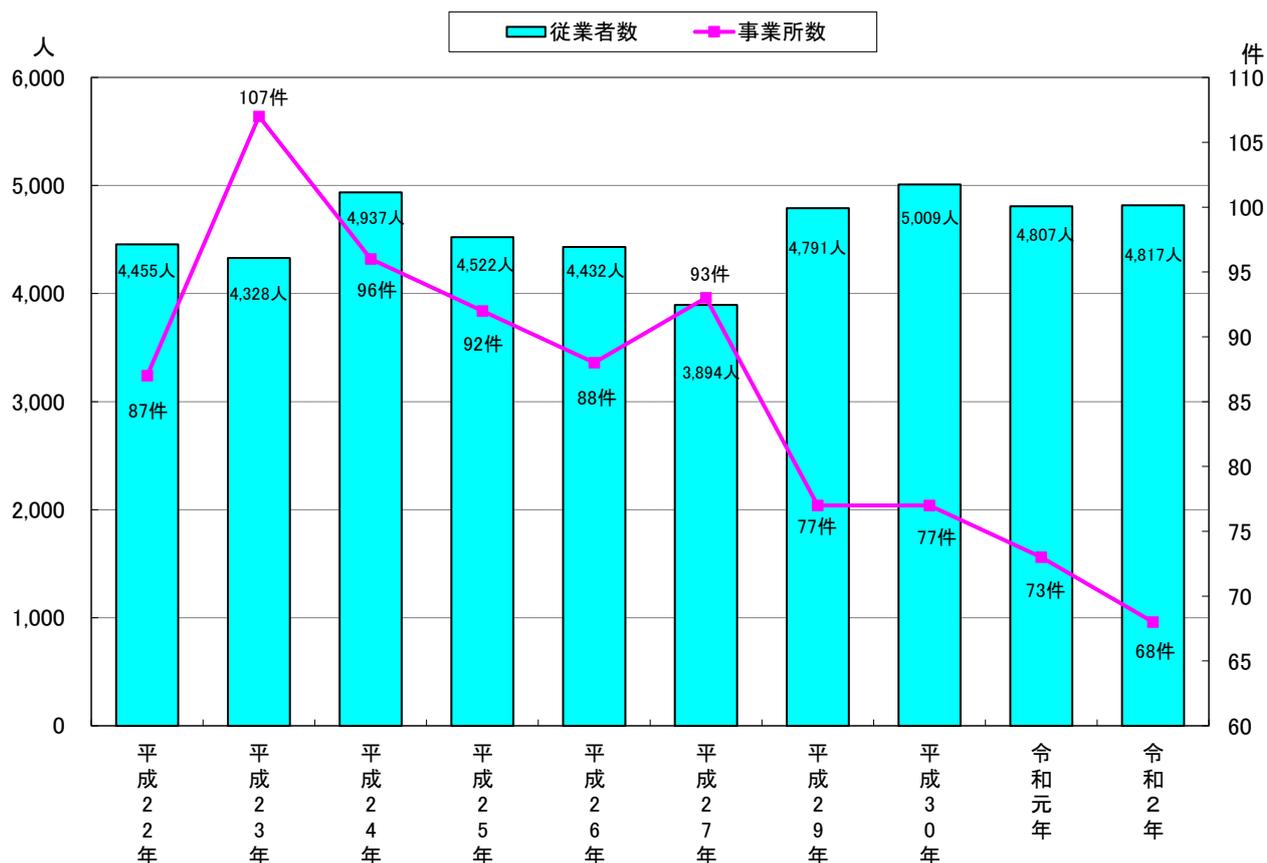
注)農家数

経営耕地面積が10a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上の世帯をいう。

注)基幹的農業従事者

15歳以上の世帯員のうち、普段仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

## 市内製造事業所数及び従業者数(従業者4人以上の事業所)の推移



	事業所数	従業者数
平成22年	87	4,455
平成23年	107	4,328
平成24年	96	4,937
平成25年	92	4,522
平成26年	88	4,432
平成27年	93	3,894
平成29年	77	4,791
平成30年	77	5,009
令和元年	73	4,807
令和2年	68	4,817

資料：茨城の工業(工業統計調査結果報告書)、経済センサス-活動調査(製造業)茨城県結果

注)平成23年工業統計調査は中止し、平成24年経済センサス-活動調査(製造業)が実施された。

注)平成27年工業統計調査は中止し、平成28年経済センサス-活動調査(製造業)が実施された。

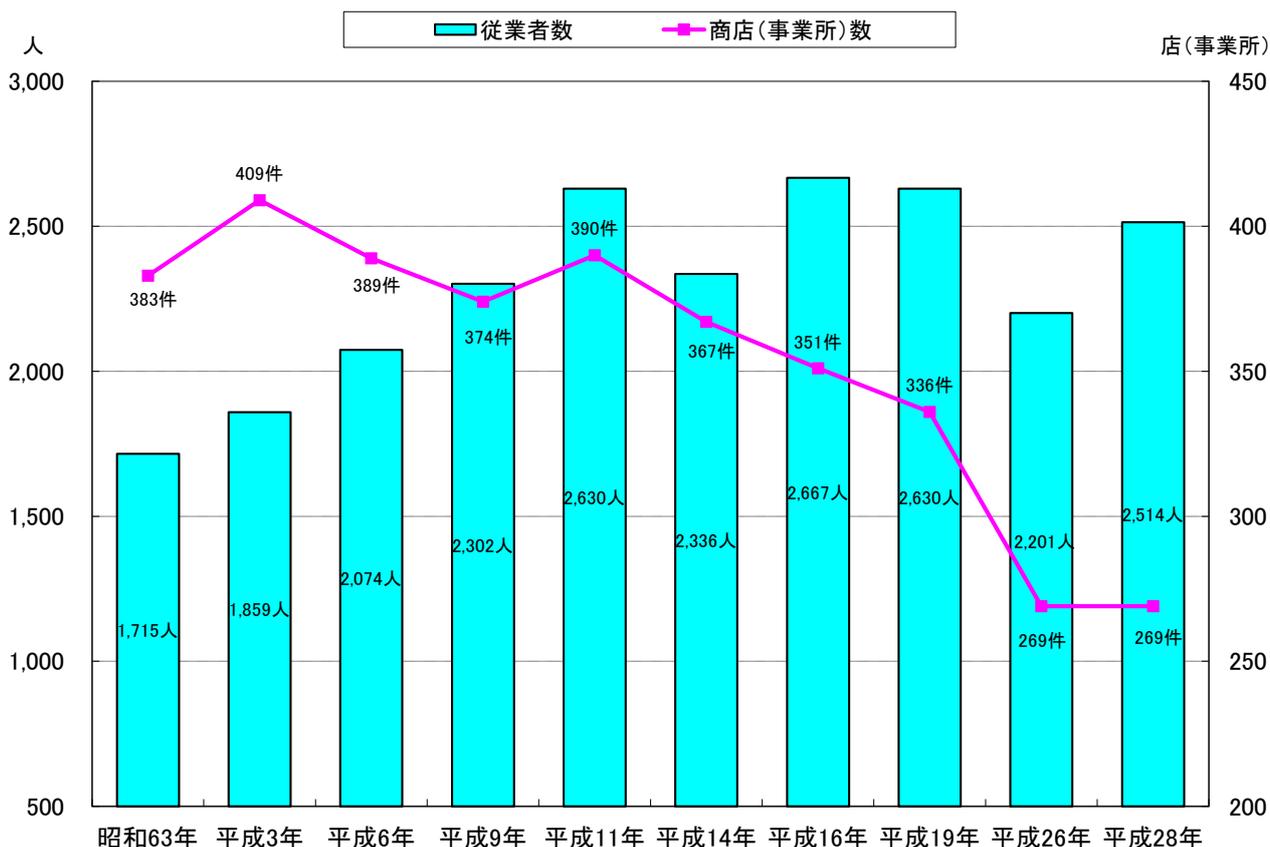
注)平成28年経済センサス-活動調査の実施に伴い、平成28年工業統計調査は中止された。

注)調査の基準日は以下のとおり。

・工業統計調査・・・12月31日、平成29年調査以降は6月1日。

・経済センサス-活動調査・・・平成24年調査は2月1日、平成28年調査は6月1日。

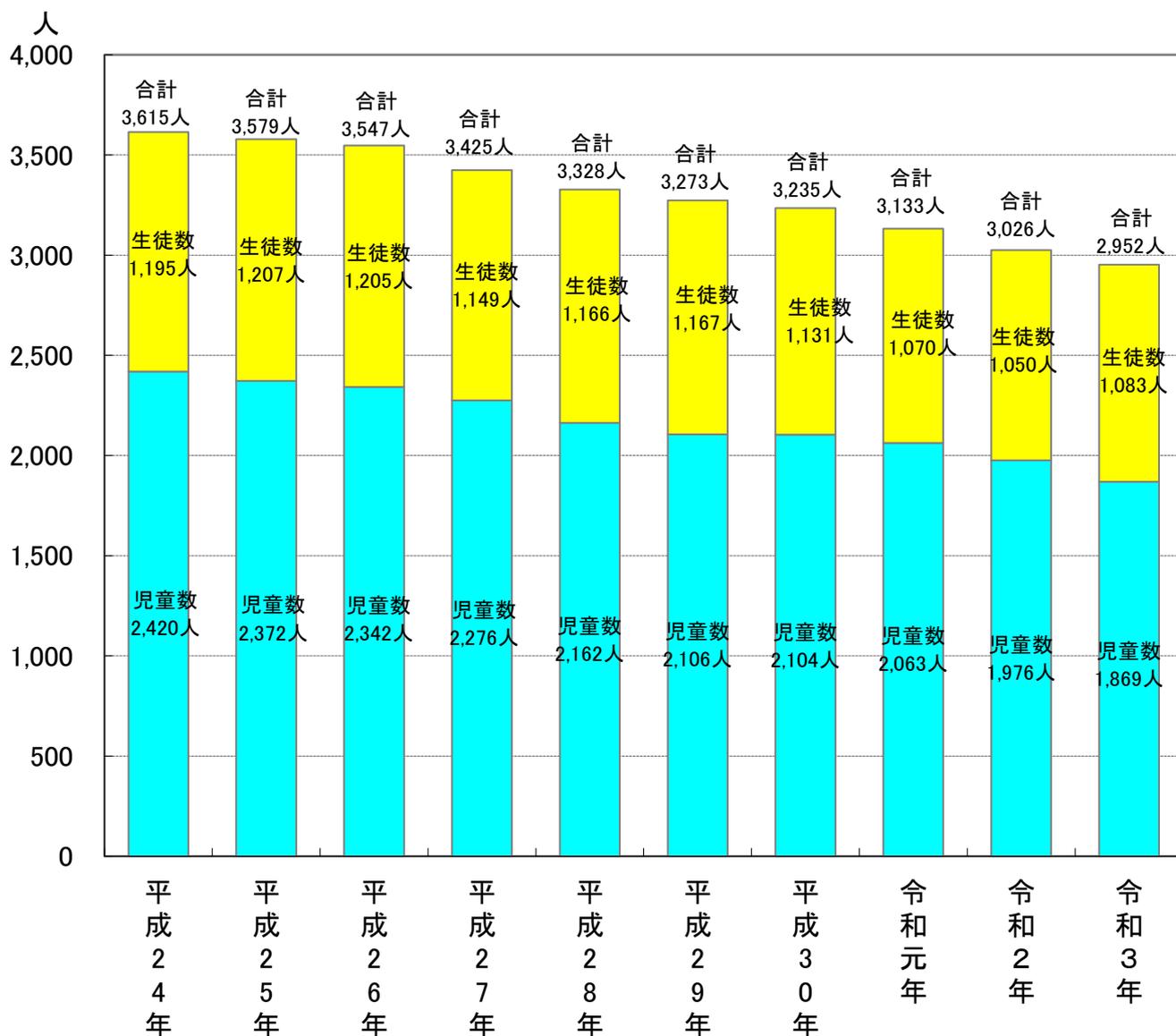
# 商業の推移



	かすみがうら市		霞ヶ浦地区		千代田地区	
	商店(事業所)数	従業者数	商店(事業所)数	従業者数	商店(事業所)数	従業者数
昭和63年	383	1,715	168	527	215	1,188
平成3年	409	1,859	172	528	237	1,331
平成6年	389	2,074	160	585	229	1,489
平成9年	374	2,302	145	540	229	1,762
平成11年	390	2,630	150	601	240	2,029
平成14年	367	2,336	136	656	231	1,680
平成16年	351	2,667	133	729	218	1,938
平成19年	336	2,630	—	—	—	—
平成26年	269	2,201	—	—	—	—
平成28年	269	2,514	—	—	—	—

資料：茨城の商業(商業統計調査結果報告書)、経済センサス-活動調査産業別集計(卸売業、小売業)茨城県結果  
 注)平成28年商業統計調査は、平成28年経済センサス-活動調査の卸売業、小売業として実施。

# 市内児童数及び生徒数の推移



	(小学校) 児童数	(中学校) 生徒数	合計
平成24年	2,420	1,195	3,615
平成25年	2,372	1,207	3,579
平成26年	2,342	1,205	3,547
平成27年	2,276	1,149	3,425
平成28年	2,162	1,166	3,328
平成29年	2,106	1,167	3,273
平成30年	2,104	1,131	3,235
令和元年	2,063	1,070	3,133
令和2年	1,976	1,050	3,026
令和3年	1,869	1,083	2,952

資料: 茨城の学校統計(学校基本調査結果報告書)

茨城県からみるかすみがうら市

項目	単位	指標値		県内順位	基準日	
		茨城県	かすみがうら市			
可住地面積	km <sup>2</sup>	3,975.36	90.89	21位	令和元年	
人口密度(総面積1km <sup>2</sup> 当たり)	人	468	253	32位	令和3年10月1日	
年齢区分 別人口 割合	年少人口(15歳未満)	%	11.7	10.6	25位	令和3年10月1日
	生産年齢人口(15~64歳)	%	58.0	56.8	21位	令和3年10月1日
	老年人口(65歳以上)	%	30.3	32.6	24位	令和3年10月1日
出生率(千人当たり)	‰	6.4	5.0	31位	令和元年	
死亡率(千人当たり)	‰	11.9	14.1	17位	令和元年	
高齢単身者割合	%	14.95	12.25	33位	令和2年10月1日	
未婚率	%	26.00	26.89	9位	令和2年10月1日	
外国人割合	%	2.52	3.26	13位	令和2年12月31日	
市町村内総生産	百万円	14,092,237	193,674	24位	令和元年度	
製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)	百万円	12,581,236	225,113	19位	令和元年	
商品販売額	百万円	6,868,784	102,087	19位	平成27年	
就業者 割合	第1次産業	%	5.88	10.74	10位	平成27年10月1日
	第2次産業	%	29.75	31.72	17位	平成27年10月1日
	第3次産業	%	64.37	57.34	28位	平成27年10月1日
市町村民税(住民1人当たり)	千円	67.38	61.53	19位	令和2年度	
固定資産税(住民1人当たり)	千円	71.36	67.68	19位	令和2年度	
歳出決算総額(住民1人当たり)	千円	546.48	594.82	16位	令和2年度	
水道普及率	%	94.9	98.7	13位	令和2年3月31日	
汚水処理人口普及率	%	86.0	93.8	9位	令和3年3月31日	
下水道普及率	%	63.5	62.6	17位	令和3年3月31日	
ごみ収集量(1人1日当たり)	g	940	1,029	5位	令和2年度	
自家用乗用車数(千人当たり)	台	694.7	731.2	21位	令和3年3月31日	
火災出火件数(10万人当たり)	件	36.66	57.38	9位	令和2年	
交通事故発生件数(千人当たり)	件	2.11	2.25	11位	令和2年	
交通事故死傷者数(10万人当たり)	人	263.0	294.4	8位	令和2年	

資料:「市町村早わかり～指標からみたわがまち～」(茨城県政策企画部統計課)